

市民大学たかしまアカデミー オープン講座

10年目の「関係人口」

ー 地方創生と地域人材の現在地 ー

と き：2026年 7月26日（日）10時～12時

ところ：今津公民館（滋賀県高島市今津町中沼1丁目4番地1）

講 師：田中輝美さん

（島根県立大学 地域政策学部 准教授／ローカルジャーナリスト）

参加
無料

「関係人口」という言葉が世に出て約10年。登場するや人口減少にあえぐ地域における地方創生の切り札として瞬く間に時代のキーワードとなり、地方の自治体等では「関係人口」の創出や確保に向けた政策・施策が次々と展開しています。一方、流行の陰で、もともとのいきさつや真意を離れてこの語だけがひとりあるきしているような場面も見られます。「関係人口」ブームの火付け役である田中輝美さんをお招きして、「関係人口」をめぐる10年間を振り返りながら、地方創生と地域人材の現在地について議論します。

主催：高島市社会教育課
電話：0740-25-8561
参加申込フォーム →



お申込・お問合せは左記
連絡先（主催者）まで、ま
たは左記QRコードへ

田中輝美（たなか・てるみ）さん

島根県浜田市出身・在住。大阪大学文学部卒業後、山陰中央新報社に入社し、報道記者として、政治、医療、教育、地域づくりなど幅広い分野を担当した。2013年新聞協会賞受賞。2014年、同社を退社し、「ローカルジャーナリスト」という新しい肩書きをつくって独立。2018年総務省ふるさとづくり大賞奨励賞。大阪大学大学院人間科学研究科で関係人口を研究して博士（人間科学）を取得し、2021年島根県立大学地域政策学部に着任した。また、「過疎は終わった!」と掲げた新しいかたちの年刊誌『みんなでつくる中国山地』を仲間と創刊したほか、2023年、地元の浜田市美又地区にある築87年の旧農協を改修し、宿泊とイベントが可能な「美又共存同栄ハウス」を運営している。

